

地質ニュース

昭和 62 年 1 月

第 389 号

1987

年頭所感	垣 見 俊 弘	6
北薩 とくに菱刈の金鉱床： その構造規制と生成モデル	石 原 舜 三 森 下 祐 一	7
へムロ鉱床 —カナダ オンタリオ州の始生代金鉱化作用—	服 部 恵 子	21
小学生による海生哺乳動物化石発見の話題 —茨城県新治郡玉里村を訪ねて—	磯 部 一 洋 岸 本 文 男	32
ヒマラヤの海とその消滅—その3—	中 嶋 輝 允	36
泰山鳴動してミミズ一匹 —静岡県相良町石油流失事件始末記—	安 藤 直 行 杉 山 雄 一	48
中国の対日鉱産物輸出の構想	岸 本 文 男	52
地質標本館だより 「岩石・鉱物・化石の相談日」と「入館者20万人達成」	神 戸 信 和 滝 沢 朝 代	53
震ヶ浦の歴史	鈴 木 泰 輔	58
海外室だより	海 外 室	62

口 絵 伊豆大島火山 1986年噴火 I (緊急速報) 菱刈とへムロ II

編集 地質調査所

発行 株式会社 実業公報社

表紙の写真

菱刈鉱山産金銀鉱

菱刈鉱床は鹿児島県の北西部 産金地帯として著名な北薩地域で 新しく発見された世界で最高の品位を有する金銀鉱脈鉱床である。鉱床は潜頭性であって地表下約 170m 以深に 3 群 (菱泉 瑞泉 芳泉) の鉱脈が東北東方向に走る。鉱脈は主として石英からなり 随伴する金銀鉱脈や氷長石などと共に著しい縞状構造を示すことが一般的である。(口絵および本文 7—31 頁参照)。

写真は菱泉 1 号脈 —100mL E20B から採取された高品位金銀鉱石であり その品位は Au 3,600g/t Ag 9,720g/t である。黒い縞が“銀黒”で エレクトラム ナウマン鉱 硫セレン銀鉱などを主として含む。この銀黒のためにこの標本は一般の鉱石 (Ag/Au≒1) よりも銀に富んでいる。菱刈鉱床は1981年の発見後 5年の歳月を経て1985年11月に開山式を迎え この標本はその折鉱業権者の住友金属鉱山株式会社より地質調査所長に寄贈されたものであり 現在筑波の地質調査所地質標本館に展示されている。〈標本番号 GSJ M 12212〉

石原舜三 豊 茂秋

2月号予定目次

琵琶湖西岸の活断層と寛文二年(1662年)の地震による湖岸地域の水没

滋賀県高島郡今津町の北西海道遺跡において認められた地震跡

滋賀県大津市の蜷谷遺跡において認められた地震跡

温泉型金鉱床と地熱系

第 6 回地震年代学・宇宙年代学・同位体地学国際会議

麦飯石について